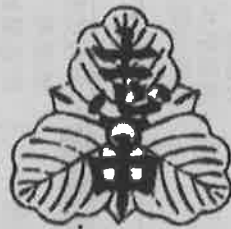


令和2年度 志木市立志木中学校

本校における
新型コロナウイルス対策の取り組み
「改訂版 9月3日」



【生徒・保護者向け資料】

はじめに

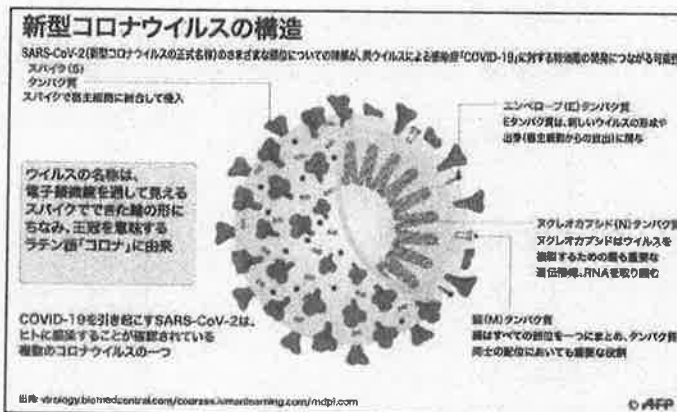
この資料は、新型コロナウイルスの感染が心配されている現状の中で、学校生活を過ごす生徒の皆さんが、今までの通常の学校生活と異なる取り組みを行う点について整理し、要点をまとめたものとなっています。

全世界で猛威を振るっている新型コロナウイルスは、日本の生活にも大きな影響を与えています。2月下旬から5月下旬まで続いた全国の小中学校の臨時休業、各種イベントの自粛や中止など、私たちの生活に大きなダメージを与えています。

緊急事態宣言は解除されたものの、今も予断を許さない状況であることに変わりはありません。このような状況の中で学校生活を過ごすためには、様々なリスクへの対策をしっかりとこなうことと、その対策への意識が重要であると考えます。

残念ながら、新型コロナウイルスは目に見えるものではありません。見えない敵と闘う中で、皆さんが少しでも安心・安全に過ごすことができるよう、志木中学校として現状の中で最大限の対策を行っていききたいと思います。今までの「普通の生活」とは異なる部分もありますが、最大限の対策をとるための方法として、皆さんに協力してほしいと思います。

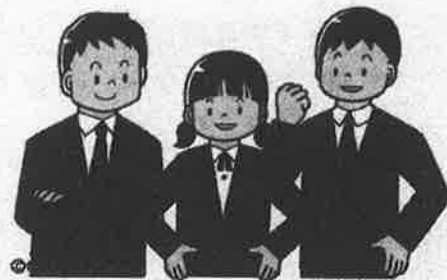
まだ先が見えない闘いではありますが、毎日を生懸命生き、そして少しずつ日常を取り戻していくことができるよう、今できることを共に頑張っていきたいと思います。



保護者の皆様へ

今回の新型コロナウイルスの影響による志木市内小中学校の一斉臨時休業および分散登校においては、保護者の皆様のご協力とご負担があったことを、この場を借りて深くお礼申し上げます。我々教職員も、一日も早く元の学校生活を取り戻すために準備を進めているところではありますが、現状ではまだ元通りの生活に戻すことには大きなリスクがある状況です。

この資料には、学校生活を再開するにあたり、最大限リスクを低減できるよう配慮しながら、これから始まる学校生活がお子さんにとって充実したものとなるよう、我々教職員が現在可能な新型コロナウイルス対策の最大限の取り組みを紹介しています。なかなか行き届かない部分もありますが、できる限りの体制をとりながらお子さんの様子を見守りたいと思います。ご心配な面もあるかと思いますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



取組の紹介

これから、学校生活の日課の流れに沿って、それぞれの場面で新型コロナウイルス対策に関わる取組の内容と目的を紹介していきます。今までの学校生活との違いをしっかりと理解し、新型コロナウイルスへの対策に取り組んでいきましょう。

③手洗いの徹底【登校後にまず行うこと】

手洗いのタイミングは**登校後・給食前後・トイレ後・清掃後・用具共有後**

感染症対策の最も基本である手洗い！登校後に外からウイルスを持ち込まないために、石けんでの手洗いを必ず行いましょう。また、用具共有後というのは、不特定多数の人が触れた道具（技術・美術・音楽・家庭科・体育・理科などの学習で使う道具）を使った後の除菌が目的です。手洗いをこまめにするために必要な、清潔なハンカチ・タオルの持参を忘れないようにしましょう。今までの学校生活では手洗いをしていなかった場面でも、**こまめに手洗い**を！



④手指のアルコール消毒【手洗いと合わせて実施】 ※追加

手指のアルコール消毒のタイミングは **特別教室・体育館に入る前後、給食当番の前** など

☞ポイント

石けんでの手洗いが感染予防の第1原則ですので、基本的には石けんで手洗いをします。ただし特別教室や体育館は多くの人を使用する場所なので、手洗いに加えて手指のアルコール消毒をしましょう。アルコール消毒は特別教室の前、体育館入り口、各階の廊下に複数設置されています。適宜使用してください。※なお、石けんやアルコールに過敏に反応したり、手荒れの心配がある場合は、流水でしっかりと手を洗えば問題ありません。

⑤換気の徹底【密閉空間をつくらない】

教室も換気、廊下も換気！**空気の流れ**を作りましょう！

【先生方による換気作業】

- ☑授業中は常に窓、前後のドアを開け換気を行います。
- ☑休み時間に廊下の換気を行います。

【生徒による換気作業】

- ☑休み時間にドアを全開にし教室の空気を入れ替えましょう。



※夏の気候では、常時窓を開放することを基本とします。天候により閉めている場合、少なくとも30分に1回換気します。

⑥授業時の確認【いままでと少し違う授業に】 ※更新

授業形態について

【全教科共通】

- ☑感染予防対策のために、各教科の授業時の活動に工夫があります。教科ごとに、取り組む内容は異なります。各教科の工夫や取組については、授業時に各教科担当から説明を行います。
- ☑普通教室の座席は、一人ひとりが離れた状態となるように配置します。（基本的にテスト座席と同様のレイアウトとなります）

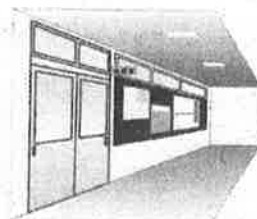


⑧ 昼休みの過ごし方【やってもいいこととやらなきゃいけないこと】 ※追加

昼休みの活動として以下の活動を認めていきます。活動場所には、担当の先生がついてくれます。

① 廊下での交流

窓などを開放し、換気を徹底します。また、大人数で固まっただけの交流は望ましい状況ではないので、**分散するように気をつけましょう**。また、心配な状況がある場合は、その場にいる先生が声をかけるようにしていきます。



② 図書館の利用

基本的に換気をした状態となります。「**会話は極力しない**」「**個人での利用が基本**」を意識して利用してください。また、心配な状況がある場合は、その場にいる先生が声をかけるようにしていきます。※図書館利用の際は、**利用前にも手洗い・消毒**をお願いします。



③ 体育館の利用

体育館での活動を可とします。ただし、密を避けるため曜日で利用できる学年を限定します。その場にいる先生が換気を行いながら利用してもらいます。また、心配な状況がある場合は、その場にいる先生が声をかけるようにしていきます。



④ グラウンドの利用

グラウンドでのサッカーは可とします。屋外ですが、大人数で密集するような状況は作らないように気をつけて活動してください。また、心配な状況がある場合は、その場にいる先生が声をかけるようにしていきます。



📌 ポイント

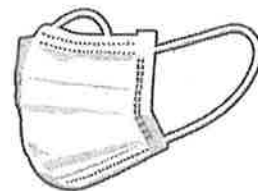
学校生活で一番長い休憩時間である昼休みには、しっかりとリフレッシュすることも大切です。それぞれの活動場所での諸注意を守り、利用してください。昼休みに各活動場所を利用した後は、**必ず手洗いを実施**してください。（不特定手数が触れる用具等を利用するため）



⑩マスクの着用とハンカチ・タオルの準備について【感染予防の取組】

マスク着用の大きな目的は、飛沫の拡散予防です！

学校生活の中では、マスクを必ず着用しましょう。マスクの色や柄は問いません。飛沫予防が最優先です。また、マスクを外す場面（給食・体育の時など）において、マスクの紛失を予防するため、そして衛生的に保管するために、マスクを保管する袋を準備しましょう。（保管用のビニール袋などを各自で用意してください。）



※もし、学校生活において、マスクが汚れて使えなくなってしまったときは、近くの先生へ相談してください。

ハンカチまたはタオルは、学校生活において絶対に必需品です！

重ね重ねになりますが、新型コロナウイルス対策を意識した学校生活においては、手洗いが必須です。手洗いの回数も多くなりますので、必ずハンカチまたはタオルの準備をお願いします。他人との共用はできません。回数が多くなることを考えると、タオルの方が使いやすいかもしれませんね。また、ハンカチまたはタオルについては、毎日必ず交換してください。



⑪ゴミが感染源にならない配慮を【感染予防の取組】 ※追加

校内で、自分が出した次のようなゴミは、必ずビニール袋に入れて捨てましょう。教室のゴミ箱横にビニール袋が設置されています。

【以下のようなゴミはビニール袋へ入れ、口をしぼってからゴミ箱へ捨てましょう】

- 使用後のマスク
- 汚れたティッシュ（鼻をかんだ後、口を拭いた後、汗を拭いた後）
- 血液などが付着したもの

※飛沫と同じで、感染源になると考えられるものは、袋に入れて捨てる習慣を付けましょう。

📌 ポイント

この取組は、ゴミに付着していたものが感染源となることを予防し、ゴミを回収する人（掃除当番を含む）の感染リスクを回避するために大切なことです。皆さんの協力をお願いします。

⑫ソーシャルディスタンス、咳エチケットを意識しよう【マナー】 ※追加

【すべての場面で共通の取組】

咳やくしゃみをする時は周囲の人へ配慮し、マスクをしていても、肘（ひじ）で口を抑えましょう。（咳エチケット）

【授業以外での取組】

友人と過ごすときは、理想として2mの距離を意識しましょう。（ソーシャルディスタンスの意識）

給食準備時間などで、水道が混み合っているときは、並ぶ際に距離を開けるように気をつけましょう。

【授業時間での取組】

座席は一人ひとりが離れていますが、大きな声を発したり、不必要な場所に触れることなどは控えましょう。

📌 ポイント

新しい生活様式として、社会全体で奨励されている取組です。特に、ソーシャルディスタンスの意識というのは、必ずしもその距離がとれないとしても、「とろうとする意識」が大切です。

⑭欠席・早退の場合…

【次の場合は「出席停止」となります】

- ①本人の感染が確認された場合〔**治癒するまで**〕
※必ず学校に連絡してください。
- ②本人が保健所から濃厚接触者として指定された場合
〔14日間もしくは保健所からの健康観察期間終了まで〕 ※必ず学校に連絡してください。
- ③発熱などの風邪症状がみられるとき〔**症状がみられなくなるまで**〕
※以前配布した登校届様式1-2を登校時提出（用紙をなくしてしまった場合は担任まで）
- ④医療的ケアが必要な生徒や基礎疾患がある生徒が、医師から登校すべきではないと判断された場合
〔**医師が認めるまで**〕

【次のような場合は「早退」となります】 ※更新

- ⑦登校後に発熱した場合〔**早退**〕
※保健室では感染防止の観点から、体調不良で来室した生徒は原則早退とさせていただきます。

志木市としては、現時点【9月1日現在】では上記のような基準となっています。今後、変更になる場合もあります。不明な点は、学校までご相談ください。（志木中学校 ☎ 471-0143）

⑮熱中症にもご用心！ ※追加

「新型コロナウイルスへの対応」もちろん大切ですが、**熱中症対策も重要**です。



- ☑熱中症予防と新型コロナウイルスへの対応として、必ず水筒をもってきてください。夏季において運動部の人や体育がある日は「スポーツドリンク」を持ってくることをおすすめします。
- ☑マスクについては、登下校時において、他の人と十分に距離が保たれている状況（厚生労働省は2mを推奨しています）であれば、外しても構いません。校地に入る際は、着用をお願いします。
- ☑校舎内では、原則マスク着用です。ただし、給水時、給食時、熱中症の危険がある時などは外しても構いません。また、体育や部活動での着用については、活動時のルールに従いましょう。
- ☑手洗い用途は別に、汗ふき用のタオルを持参することをおすすめします。



保護者や地域の皆様へ

学校において、児童生徒等の学びを確保するための取組を進めることができているのは、保護者や地域の皆様に感染症対策の取組に御理解と御協力を賜っているからであり、心より感謝申し上げます。

しかし、このような取組を徹底しても学校や家庭、社会において感染するリスクをゼロにすることはできません。誰もが感染する可能性があります。その上、新型コロナウイルス感染症には未だ解明されていない点があり、ワクチンも開発中であることから、この感染症に対する不安をお持ちの方が多くと思います。

私たちは、この感染症と、この感染症がもたらした社会の変化に対して、現時点での科学的な知見や見解に基づいて、正しく向き合うことが必要です。私からは、保護者や地域の皆様に次の二点をお願いいたします。

第一に、感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷等を許さないということです。

誰もが感染する可能性があるのですから、感染した児童生徒等や教職員、学校の対応を責めるのではなく、衛生管理を徹底し、更なる感染を防ぐことが大切です。

そして、自分が差別等を行わないことだけでなく、「感染した個人や学校を特定して非難する」「感染者と同じ職場の人や、医療従事者などの家族が感染しているのではないかと疑い悪口を言う」など身の周りに差別等につながる発言や行動があったときには、それに同調せずに、「そんなことはやめよう」と声をあげていただきたい。人々の優しさはウイルスとの闘いの強い武器になります。

感染を責める雰囲気広がると、医療機関での受診が遅れたり、感染を隠したりすることにもつながりかねず、結局は地域での感染の拡大にもつながり得ます。その点からも差別等を防ぐことは必要なことです。

第二に、学校における感染症対策と教育活動の両立に対する御理解と御協力です。

感染症への対応が長期にわたることが想定される中、学校では、感染症対策を講じつつ学校教育ならでの学びを大事にしながら教育活動を進め、子供たちの健やかな学びを最大限保障するための取組を進めていただいているところです。また、大学についても、感染症対策の徹底と、対面による授業の検討も含めた学修機会の確保の両立をお願いしております。

これからの予測困難な時代を生きていく児童生徒等や学生が、必要となる力を身に付けていくことができるよう、学校の教育活動の継続への御理解と御協力をお願いいたします。

新型コロナウイルスのみならず、感染症へ正しく対応するためには、最新の科学的な知見等を知ることが不可欠です。政府として、分かりやすい広報に努めているところですが、保護者や地域の皆様におかれても科学的な知見等を日々の生活に生かしていただきたいと思います。

令和二年八月
文部科学大臣 萩生田 光一

じどうせいと ほごしゃ みな 児童生徒・保護者の皆さんへ

いつもより短い夏休みが終わり、新学期が始まった児童生徒の皆さんに伝えたいことがあります。

新型コロナウイルス感染症が広がってから、今までと違う毎日に、皆さんはたくさん
の不安を感じていたのではないのでしょうか。そのような中でも、多くの方々が、皆さん
が困らないように働いてくださっています。

しかし、残念なことに、SNSなどでは、そういった方々やその家族、そして感染症
にかかって苦しんでいる人に対して、心ない書き込みなどが起きています。

皆さんが自宅や学校で感染予防を徹底しているにもかかわらず、身近な場所での感染
の話 を聞くようになると、自分の周りの人の感染を疑うようになることがあるかもし
れません。新型コロナウイルス感染症への不安や恐れが、偏見や差別につながります。

皆さんには、差別的な言動には同調せず、適切な行動をとることができるよう、伝
えたいことやお願いしたいことが4つあります。

○新型コロナウイルスには誰もが感染する可能性があり、感染した人が悪いという
ことではありません。

○感染した人が悪いという雰囲気ができ、感染したことを言いだしにくくなると、さ
らに感染が広がってしまうかもしれません。

○感染した人を責めるのではなく、励まし、治って学校へ戻ってきたら、温かく迎
えましょう。

○皆さんは、今、自分ができる予防をしっかりと行い、日々の学びを続けてほしいと思
います。

今こそ、新型コロナウイルス感染症について正しく理解し、もし自分が感染したら、
周囲の人にどうしてほしいかということを考えて行動しましょう。

保護者の皆様も、お子様と一緒に読むなどし、ともに考えてくださいますようお願い
いたします。



埼玉県マスコット
コバトン&さいたまっち

令和2年8月

埼玉県教育委員会教育長

高田直芳